

湖国の人たち

オピニオン'12

した収支で活動を広げているのがNPO法人「TSC」(高島市)だ。「夢を追う子どもに高い技術指導を」と語るブランドマネジャーの北川わたるさん(26)に話を聞いた。【石川勝義】

スポーツを楽しむ場として欠かせない地域のスポーツクラブ。一方、財務面で運営が難しく、行政からの補助打ち切りと同時に活動が途絶える例も少なくない。そんな中、自立

——クラブの概要を教えてください。

野球、バレー、サッカーが中心で、主に小中学生を対象に教えています。費用は硬式野球の場合、週1回で月6000円、4回で月1万3000円です。大人向けの健康スポーツ教室などもあり、約200人が在籍しています。

——創設のきっかけは？

TSCは任意団体の「TAKASHIMA SPORT CLUB」として06年4月に設立しました。びわこ成蹊スポーツ大(大津

「プロ流」指導で自立運営

市)3回生の時です。止められますが、それ
大学野球部では大津出はスピードが求められる
身の元プロ野球選手、るプロでは通用せず、
田中聡さんと知り合い横に構えて片手で捕っ
になり、その時に教えられた方が動作が速い。そ
られたことが衝撃でした。今までの練習は
た。「今までの練習はで教えようと考えまし
何だったのか」と。それを小中学生に伝えたい
と思いました。

——衝撃とは？
——学生からクラブ設立は大変そうですね。
スポーツマネジメン

例えば野球の守備はトコースに在籍し、そ
一般に、「ボールを正れを仕事にしたいとの
面に構えて両手で捕思いがありました。大
れ」と教わります。ミ学の先生が指導メニ
スしても体でボールをーを練ってくれるなど

提言

「スポーツ通貨」の創設を

スポーツ施設に多額の税金や会費が投じ
にしか使えない専用通貨があれられても、今の日本でお
ばと思います。家計に光熱費や金を投じて、スポーツ以外の
電話代があるように「スポーツ」ことに使われてしまう気がしま
費が自然になればいいですね。す。専用通貨がスポーツの世界
ドイツはスポーツがすごく盛んで循環すればスポーツ振興につ
で、一般の人が数種類のスポーツなると思っています。

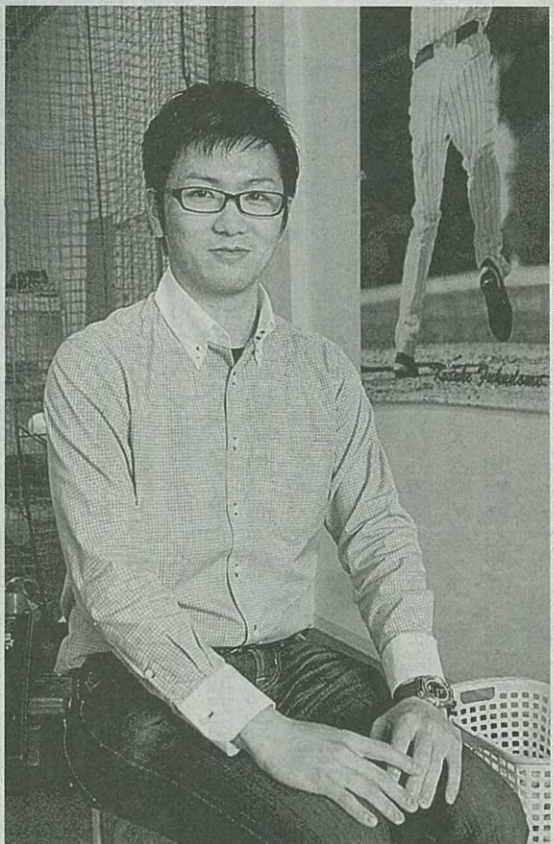
——学生からクラブ設立は大変そうですね。
スポーツマネジメン
ました。

——補助金については？
——実際に始めていか
が崩れる気がして。
がでしたか。
最初に集まったのは

地元からプロ輩出したい

NPO法人ブランドマネジャー

北川わたるさん(26)——高島市



きたがわ・わたる 85年6月生まれ。高島市出身。高島
高校卒業後、びわこ成蹊スポーツ大に進学し、3回生
時の06年にTAKASHIMA SPORT CLUB設立。00年にNPO「TSC」に。今年3月までクラブ
マネジャー。同月から県スポーツ推進審議委員。

——今後の目標は。
——やはり地元からプロ
選手を輩出したいです
ね。スポーツにかかわ
って生活できる人を増
やしたいとも思ってい
ます。